

すべての戦争・侵略を許しません、憲法9条の改悪に反対します。

新薬学者集団代表 藤竿伊知郎
〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8
(一社)大阪ファルマプラン あおぞら薬局気付
<http://pha.jp/shin-yakugaku/>

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵略がはじまりました。今回の侵略は紛争の平和的解決を求める国連憲章の蹂躪にほかなりません。世界は早期の戦争終結を願い、ウクライナ支援に立ち上がりました。

一方、ウクライナとロシアの停戦交渉は、3月29日にイスタンブールで行われて以来、開催のめどが立っていません。ロシアのプーチン大統領は核兵器や化学兵器などの使用をほめかしています。西欧諸国はそれらに対する処置として、ロシアに対する経済制裁にとどまらず、軍事兵器の支援が制限もなく追加されています。

核兵器も含めた軍事力の対決が起きており、軍事行為の終わりが見えません。いったん起きた戦争は、軍事同盟の対立も加わり、終わらせることが困難になっています。

ところが日本国内では、侵略開始直後から、「憲法9条で国は守られるか」とし、共同で運用する「核共有」などの安全保障関連発言が相次いでいます。これらの発言が、日本国憲法を先頭に立って守らなければならない立場にあった安倍晋三元首相が旗を振っていることに異常さがあります。自由民主党ばかりでなく、ウクライナ情勢に乗じて、日本維新の会なども、憲法9条の改悪を打ち出しています。

さらに、自由民主党は軍事費増額を表明し、5年以内に軍事費をGDP比2%にするとしています。2022年度当初予算の軍事費は5兆3,687億円（GDP比0.96%）ですが、仮に2%にすると、11兆2,920億円となり、米中に次ぐ世界第3位の軍事大国になることを意味します。

仮に憲法9条を改悪し、軍事費をGDP比2%に拡大すれば、日本は外国の侵略から守られるのでしょうか。憲法は為政者から国民を守るためにあります。為政者の暴走をとどめる役割を持ちます。今、憲法9条を変えると言う勢力は、憲法を守るべきものとは思ってはいません。

我が国は日清、日露、第二次世界大戦と続いた戦争の歴史と決別すべく憲法9条を定めました。そして今日まで、憲法9条に守られ、平和に暮らしてきました。

日本国憲法の前文で、「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。」と謳っています。

国や民族の違いから争いによって上に立ち、支配する社会は、私たち新薬学者集団の理想ではありません。私たちは、最大の健康破壊である戦争に反対し、すべての人々が互いを尊重し、健康に生きられる社会をめざします。私たちは、武力の強化ではなく、現憲法のもとで、日本とアジア、世界の平和を実現することは可能であると考えます。憲法9条は、戦争の放棄、戦力を保持しない、交戦権の否認を掲げ、侵略をしないことを明言しています。私たちは、日本国憲法9条の改悪に反対します。